

縦隔腫瘍切除術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/		/		/	
経過	入院日 手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目 退院日	
目標	手術を受ける準備ができる。		血圧や脈拍、呼吸状態に問題がない。 創部・管類に問題がない。 疼痛のコントロールができています。 ベッド上の安静が守れている。	歩行することができる。	退院後の生活の注意点を理解している。	→ →
処置	弾性ストッキングのサイズを測定します。	眼鏡、入れ歯、貴金属類などははずします。 弾性ストッキングをはきます。 看護師と一緒に手術室に行きます。	胸に管が入ります。 背中に痛み止めの管が入ります。 酸素吸入します。 心電図モニターを装着します。 適宜、血圧・体温・脈拍を測ります。	胸の管を抜きます。 背中の痛み止めの管を抜きます。 酸素吸入を終了します。 心電図モニターはずします。		
点滴		手術室で点滴を始めます。	食事が取れるようになったら、点滴は終了です。			→
お薬	内服薬の確認をしますので、普段飲んでいる薬とお薬手帳を忘れずに持ってきてください。	医師から指示されたお薬のみ内服します。 	夕から痛み止めの内服薬が始まります。 		退院処方がある場合はお渡しします。 	
検査	採血			採血 レントゲン	レントゲン	
食事	夕食のときに術前飲料水がでます。 21時以降は食事をとることはできません。	指定の時間まで、術前飲料水をとることができます。 <input type="checkbox"/> 午前手術 ⇒ 朝7時まで <input type="checkbox"/> 午後手術 ⇒ 朝9時まで	麻酔から完全に目が覚めたら、食事をとることができます。 手術の終了時間によっては、水分のみとることができます。	食事の制限はありません。		
活動安静度	制限はありません。		手術後はベッド上で安静に過ごし、起き上がることはできません。寝返りはできます。必要時、体の向きを変えます。	朝から起き上がることができます。 座る練習から始め、その後、看護師と歩く練習をします。		
排泄	制限はありません。		尿の管が入り、自然に尿が排出されます。痛いときや違和感が強い場合は、看護師を呼んでください。 排便はベッド上になるので、看護師にお知らせください。	尿の管を抜きます。 トイレに行くことができます。		
清潔	シャワーに入ります。 			胸の管が抜けたら、シャワー浴ができます。それまで、温かいタオルで身体を拭きます。 		
説明指導	病棟を案内し、入院中の生活とスケジュールについて説明します。 同意書等の書類を確認し、お預かりします。	ご家族は手術予定時間の1時間前に病棟へお越しください。 貴金属類など貴重品はご家族に渡してください。	吐き気や痛みがある時は、遠慮なく看護師にお知らせください。 		退院の書類をお渡しし、退院の手続きになります。 次回外来予約の説明をします。	



- 胸の管を抜いた部分は、初回の外来時に抜糸します。ガーゼやカットバンは適宜交換して清潔にしましょう。
- 退院後は入浴が可能です。創部は洗っても問題ありません。ガーゼやカットバンは必ずはずして洗うようにしましょう。
- 退院後は普段通りの生活を送ってください。ただし、創部に負担のかかるようなスポーツは2~3週間は避けてください。